

平成 20 年度調査・研究事業

六十里越街道でつながる広域連携・交流促進プロジェクト《山形県山形市、鶴岡市、寒河江市、中山町、西川町》

【概要】

山形市～鶴岡市間を結ぶ「六十里越街道」は、かつて出羽三山（月山、湯殿山、羽黒山）への信仰の道、庄内と内陸の物流交易の道など多面的な役割を持ち、山形県の中央を横断する中核的道路として、各地から訪れる参拝者や行商の往来等により賑わっていたが、明治以降、自動車の普及や高速道路等交通網の整備に伴い、街道は古道になるとともに、沿線地域の結びつきは希薄になった。

近年、地元関係者により街道の文化価値の再認識がはかれるとともに、地域間の連携を深めようとの気運が高まってきているが、限定的な活動にとどまっている。

本調査では、山形県・六十里越街道沿いの3市2町（山形市、鶴岡市、寒河江市、中山町、西川町）が、広域的な連携による地域づくりを推進することにより、沿道住民の街道文化価値再認識と交流の活性化、および域外からの交流人口拡大による産業振興、地域活性化をはかるため、今後の活動指針および具体的なアクションプランを検討・立案することとし、平成20年度から21年度の2カ年継続事業として取り組むものである。

【対象市町村、モデル地域等】

山形県山形市、鶴岡市、寒河江市、中山町、西川町

【調査年度】

平成20年度～平成21年度

【提案・要請者】

山形県山形市、鶴岡市、寒河江市、中山町、西川町

【提言内容・その後の活動等】

山形県・六十里越街道沿いの3市2町（山形市、鶴岡市、寒河江市、中山町、西川町）が、広域的な連携による地域づくりを推進することにより、沿道住民の街道文化価値再認識と交流の活性化、および域外からの交流人口拡大による産業振興、地域活性化をはかるため、今後の活動指針および具体的なアクションプランを検討・立案することとしている。

【成果品】

【調査体制】

委員会、戦略プロジェクトチーム

【委員長・座長】

清水 慎一 （株）ジェイティービー 常務取締役

【事務局】(IVICT は除く)

田苗 守 山形市 商工観光部観光物産課 課長

安達 喜代美 鶴岡市 企画部地域振興課 課長

工藤 恒雄 寒河江市 商工観光課 課長

森谷 憲一 中山町 総務企画課 課長

高橋 勇吉 西川町 総務企画課 課長

志賀 秀一 (株)東北地域環境研究室 代表

伊藤 暁 (株)東北地域環境研究室

【調査協力機関】

(株)東北地域環境研究室

【視察先・ヒアリング先など】

【委員等】(分科会等は除く)

【特記事項】

【区分】

プロジェクト発掘・支援